真誠

学校だより No. 7
西東京市立田無小学校
令和８年１０月３０日
ホームページURL　https://www.nishitokyo.ed.jp/e-tanashi/



目次

副校長より……2
今月の主な行事予定……3
学校からのお知らせ……4
学年からのお知らせ……4
１年生……4
２年生……5
３年生……5
４年生……6
５年生……6
６年生……7
わかば……7
学校の様子……8

副校長より

「何回言ったら分かんねん」を撲滅しましょう。　副校長　西村 大吾

SNS を眺めていたら、とあるスポーツコーチがこう語っていました。

「何回言ったら分かんねん」を連呼しているあなた、何回伝えても伝わらない伝え方をしていることに早く気付きましょう。聞いている側の責任ではなく、伝えているあなたの責任です。そこに気付けていないならば、指導すべきではないです。今すぐ新しい伝え方を工夫しましょう。

なるほど、そうかもしれません。でも、私も児童にこう言ってしまうことがあります。繰り返し指導しているのになかなか改善がみられないと、こちらにも焦りが生じます。すると、強い口調でこの言葉を発してしまうのです。そして残念ながら、怒鳴っても効果があるのはその直後だけで、根本的な改善につながったという実感はほとんどありません。だからこそ、また同じ言葉を繰り返してしまうのです。

また別の SNS の投稿で、ある心理学者がこんなことを語っていました。

「子どもを従わせる人と、子どもを育てる人は違います。」

言うことを聞かせることは教育の目的ではありません。教育とは、その子の可能性を引き出し、自ら成長していけるように支えることです。教育心理学では、人は恐怖ではなく、自律性が育つ環境で最も成長するとされています。優れた指導者は子どもをコントロールしません。まずその子を理解します。子ども一人一人、物事の捉え方も、価値観も、意欲が高まるきっかけも違います。子どもが伸び悩んでいる時、その子のせいにするのではなく、まずは自分の指導を振り返ってみる。そして、その子を理解する力を磨く。そんな姿勢を大切にしたいものです。

これも私の心に刺さる内容でした。先ほどの「何回言ったら分かるんだ」という叱責は、子どもの内面を豊かに育てたいという思いよりも、目の前の子どもを自分の思い通りに動かしたいという気持ちが強くなった時に出てしまう言葉なのかもしれません。子どもの成長を願っているはずなのに、思うようにいかない焦りから、つい叱りつけて言うことを聞かせようとしてしまう。私たち大人には、そんな弱さがあるのだと思います。

副校長という立場は、担任や専科教員と比べて児童と関わる時間が限られています。だからこそ、目の前の児童の個性やその時の感情をできるだけ丁寧に見つめ、理解できるようにしたいなと思っています。そして、その子にとってどのような関わり方をすればよいかを考えるようにしています。それを担任に伝え、共有していくことにも努めています。本当は担任をしていた時にこのような考えができればよかったのですが…。

さて、我が家の娘たちですが、学校から帰って来るなりリビングの床にスクールバッグをドンと置いたままにします。「自分の部屋に持っていって！何回言ったら分かるの？！」と毎日のように妻の声が響きます。どなたか新しい伝え方を教えてください…。

11 月の生活目標
「進んで仕事をしよう」

当番や係など自分の役割を責任もってやりましょう。周りをよく見て、自分から仕事ができるといいですね。

今月の主な行事予定

日	曜日	行事予定	SC	授業時数						曜日	日
				1年	2年	3年	4年	5年	6年		
1	日									日	1
2	月	委員会	○	4	4	5	5	6	6	月	2
3	火									火	3
4	水	読書月間始 安全指導		4	5	5	5	5	5	水	4
5	木	クリーンアップ大作戦(6)		4	5	6	6	6	6	木	5
6	金			5	5	6	6	6	6	金	6
7	土										
8	日										
9	月	全校朝会 避難訓練	○	4	5	6	6	6	6	月	9
10	火	ロング昼休み		5	5	5	6	6	6	火	10
11	水			4	4	4	4	4	4	水	11
12	木	学習発表会(児童鑑賞日)		5	5	5	5	5	5	木	12
13	金	学習発表会(児童鑑賞日)		5	5	5	5	5	5	金	13
14	土	学習発表会(保護者鑑賞日)		4	4	4	4	4	5	土	14
15	日									日	15
16	月									月	16
17	火	学習発表会片付け作業(5)		5	5	5	5	6	5	火	17
18	水	歯科衛生指導(わ・3)		4	5	5	5	5	5	水	18
19	木			4	5	6	6	6	6	木	19
20	金	歯科衛生指導(1)	○	5	5	6	6	6	6	金	20
21	土									土	21
22	日									日	22
23	月									月	23
24	火	ロング昼休み 歯科衛生指導(4・6)		5	5	5	6	6	6	火	24
25	水			5	5	5	5	5	5	水	25
26	木	クリーンアップ大作戦(5)		4	5	6	6	6	6	木	26
27	金	社会科見学(5)		5	5	6	6	6	6	金	27
28	土									土	28
29	日									日	29
30	月	全校朝会 読書月間終 モアレ健診(5) クラブ	○	4	4	4	5	5	5	月	30

学校からのお知らせ

【読書月間がはじまります】

秋といえば読書！今年度もトムテの会の方々による読み聞かせが、各学年で１１月中に行われます。様々な本を読み、読書に親しむ機会になったらと思います。

学年からのお知らせ

１　年　生

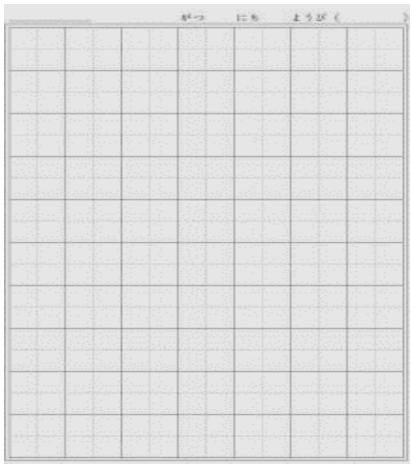
生活「みつけたあきで　あそぼう」の材料準備のお願い

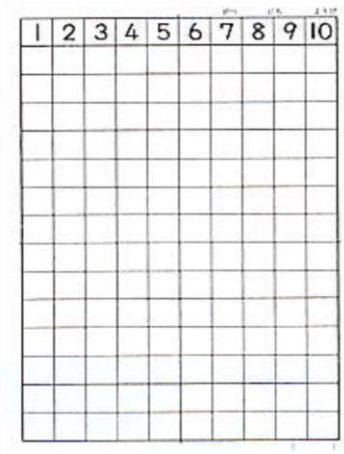
生活「みつけたあきで　あそぼう」の学習で、どんぐりやまつぼっくりを使って、おもちゃを作ったり、工作したりして、遊びます。先日、東大農場で拾ったどんぐりなどに加えて、公園で拾ったどんぐりやまつぼっくりがありましたら、拾って持ってきてください。虫がでないように煮沸や冷凍等、処理していただけると、ありがたいです。（１１月６日まで）

また、おもちゃ作りでは、お子さんが考えた計画書をもとに、材料を用意します。紙コップや段ボールが必要になる場合もあります。学校に持って来る日は、連絡帳を通してお伝えします。よろしくお願いします。

ノートについて１１月１０日までに持たせてください。

国語ノート　十マス　十字リーダー入り　　算数ノート１４マス（横１０マス）
（現在のものと同じマス）





２　年　生

九九の学習について

音読カードのように、九九カードを使った宿題を始める予定です。九九を聞いていただきましたら、カードにサインの記入をお願いします。

また、九九を上り・下り・バラバラで暗唱できるかの検定も行いますので、検定に向けての練習もぜひ、ご家庭でもご協力をお願いします。

持ち物の確認＆忘れ物について

図書や音楽の授業での忘れ物が目立ってきています。また、登校してすぐに「鉛筆を削っていいですか。」と言われることも多々あります。ご家庭でも、お子さんに一声かけていただき、すべての文房具にお名前を書いていただけると返却ができますので、記名をよろしくお願いします。

生活科で使う材料について

生活科で動くおもちゃを作る予定です。必要なものについては、計画書や、連絡帳に記入し、持ち帰りますので、ご家庭で必要なものをご用意ください。

必要な物を記名した袋に入れて、お子さんに持たせてください。持って来る日は、各学級でお知らせします。

３　年　生

学習道具について

最近、各教科でノートを使い切る児童が多く見られます。ぜひノートを使い切る前に新しいノートのご用意をお願いいたします。全ての教科で5mm方眼のノートを使用しています。新しいノートにも必ず記名をして持たせてください。

登校時刻について

登校時間は8:15～8:25 の間です。8:25 にはランドセルの片付けを終えて自席に着席するよう指導を行っていますが、現状 8:25 ギリギリやその後に登校する児童が多く見られます。お手数ですが、8:20 くらいには登校できるようご家庭でも声掛けやご支援をお願いいたします。

保護者会について

日時：12 月1日（火） 15:05～
内容：〇2学期を振り返って（学習・生活） 〇3学期の行事予定・学習予定
　　〇冬休みの生活 など

4　年　生

算数の準備について

「直線の交わり方やならび方に注目して調べよう」の学習では、三角定規・分度器・コンパスが必要です。**11月6日（金）**までにご準備をお願いします。

学習発表会の服装について

11 月12日（木）～14日（土）に予定しております学習発表会に向けて、当日の服装について以下の通りお知らせいたします。

〈服装の指定〉

ナレーター：黒いズボン、白い襟付きのシャツ

アイメイト協会の人役：襟付きシャツ（何色でもよい）

本番前に学校で着替えを行いますので、服装一式を袋に入れて**11月6日（金）**までに持ってきてください。

※服と袋の両方にお子さんの名前を記入してください。

※清潔で動きやすいものをご用意ください。

※色や形でご不明点がございましたら、お手数ですがご連絡ください。

※特に指定のない役の人は、特に着替えはせずにいつもの服装で行います。

ご準備・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

5　年　生

社会科見学について

11月27日（金）に社会科見学で「明治なるほどファクトリー」へ行く予定です。

当日の詳しい日程や持ち物等につきましては、後日しおりを配布するとともに、「すぐーる」でもお知らせいたします。なお、当日はお弁当が必要となりますので、ご準備をお願いいたします。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

定期検診について

11 月 30 日（月）に、背骨が曲がっていないかを検査する「モアレ検診」があります。

総合的な学習の時間「お米パーティー」について

12月2日（水）に、お米の収穫を祝う「お米パーティー」を計画しています。

詳しくは、後日お送りいたします「すぐーる」をご覧ください。

保護者会について

日時：12月4日（金）15時05分～　　場所：各教室

内容：・2学期を振り返って　・3学期の行事予定　・3学期の学習予定　・冬休みの生活　など

ご多用とは存じますが、ご参加をお待ちしています。

６　　年　　生

国立・都立・私立中学校受験について

「国立・都立・私立中学校受験に関するお願い」を配付しました。お子さんが受験する場合には、ご提出ください。提出期限は 12 月 11日（金）です。

また、担任が作成する書類がある場合には、12 月11日（金）までに保護者の方が担任に直接手渡しでお願いします。

作成した書類は1月に保護者の方に直接お渡しします。日時などについては、担任とご相談ください。お子様に持たせることはできません。ご協力をお願いします。

※担任記入以外の欄は、要項をよく読んで保護者が記入しておいてください。

※受け渡しに手違いがないよう、大人同士の手渡しとさせていただきます。担任不在の場合には、学年の教員または職員室にいる教員に「学年・組・名前」を告げてお渡しください。

わ　　か　　ば

行事のお知らせ

〇25 日（水）に、サツマイモほりをします。汚れてもいい服と靴でお越しください。ご心配な方は着替えと大きめのタオルをご用意ください。**軍手**のご準備もよろしくお願いします。

〇27日（金）は5年生が社会科見学です。

持ち物や時程については配布されるしおりをご覧ください。

学習発表会について

11 月12日（木）～14日（土）の学習発表会の当日の服装については各学年、日課帳や連絡帳でご連絡します。ご確認ください。

学校の様子

【2年生】2年担任 金子嘉良

２年生は１０月２１日（水）にまちたんけん、２８日（水）には、稲荷山公園に遠足に行きました。まちたんけんでは、保護者の方にもご協力をいただきました。ありがとうございました。まちたんけんに行くにあたり、「お店の人にどのような態度で接すればよいか」「質問は何にしようか」と考え、本番を迎えました。どのチームも帰ってきたあとの感想で「楽しかった。」「新しい発見ができた。」という言葉を聞くことができ、充実した時間が過ごせたと思います。

「遠足」では、「友達となかよく活動する。」「安全に気を付けて楽しい遠足にする。」をめあてに活動しました。グループ活動では、ミッションに挑む姿などを通して、友達と協力している姿を見ることができ、成長を感じました。

校外学習で学んだ大切なことを自信として、これからも１日１日を大切にして過ごしてほしいです。

【読書月間】 学校司書 豊村 充和

１１月は田無小の読書月間です。本を読むと、日常ではあまり使わない言葉を知ることができます。また、自分では想像しない話の展開に出会うことができます。本を読むのが苦手、本を読む時間がない、という人もいるでしょう。でも、少しの時間でも本を読むことができれば、別の世界に飛び込むことができます。本はあらゆる人の手を経て世の中に送り出されています。また、様々な専門家の検証や校正が繰り返されて出来上がったものです。そう考えると本を読まないのはもったいないです。小学生の時に本を読んで心が揺さぶられたり自分の中で変わったりした経験は、大人になっても忘れることはありません。読書月間では、本に親しめるような活動やイベントを予定しています。どうぞ楽しんでください。

【6 年生】 6年担任　花満　澄実玲

6年生は、10月7日（水）～9日（金）にかけて、2泊3日の移動教室に行ってきました。大自然に囲まれた、赤城青少年交流の家に宿泊し、学校ではなかなかできない貴重な体験をすることができました。

実行委員が中心となって話し合い、楽しむ・チームワーク・自然文化の三本の柱で活動しました。かみつけの里では、社会で学習した古墳を実際に見たり、勾玉づくりを体験したりしました。野外炊事では、班で協力して野菜を切ったり、火を起こしたりと、チームワークを意識して活動しました。夜には1日の振り返りを行い、「時間がもったいないからもっと素早く並ぼう。」「話の聞き方はどうかな？明日はここを気をつけよう。」と学年がよりよくなるための意見が子どもたちから出てきました。

三日間を通して、子どもたちは多くの学びを得ました。今回学んだことを学校生活の中で実践し、さらに大きくなった最高学年としての背中を見せてほしいと思います。

【理科の楽しさ】 理科専科　小原　朱峰

理科の授業では、子どもたちの「なぜ？」「どうして？」という疑問を大切にしています。身近な自然現象に目を向け、自分なりに予想を立て、実験や観察を通して確かめていく。その過程で生まれる発見や驚きこそが、理科の面白さだと考えています。

理科の学びは、教室の中だけで完結するものではありません。授業で学んだことをきっかけに、日常の中にある身の回りの現象を不思議に感じ、「調べてみたい！」と思ってもらえたら嬉しいです。

これからも、子どもたちが「もっと知りたい」「自分で確かめたい」と思える授業を目指し、身近な自然に目を向ける楽しさを伝えていきたいと思います。